

平成30年度

神戸地区人権講演会

●講師 ラ モ

RAMO



●演題

ラモコンサート ～知ろうとするより感じてほしい～

「考えるより感じてほしい。手をさしのべるよりも寄り添ってほしい」

自閉症の子供をもつ垣内大徳さんはこう語る。長男楽守さんと2006年に音楽ユニットを結成し活動を展開。

楽守さんは小学5年生の頃、いじめから人を恐れるようになり、それまで天真爛漫で生き物が大好きだった少年から突如笑顔が消えた。すでにソロ活動していた父大徳さんは「音楽の力で元の息子に戻せたい。自分のステージに、なんとか息子を上げさせたい。」と願い、音楽の世界へ息子を引き寄せた。そして今ではなくてはならない大切なパートナーとなり、その息子の存在が人の心によりやさしさとぬくもりを伝えるステージをつくりあげていった。

今では、親子ライブは年に80回を超える。大徳さんが曲をつくる時、その原動力は常に子供たちであり、自分たちだけにしか出ないものを色濃く出し、人の心に直接伝わるような曲づくりに心がけている。

と き

2019年 2月 3日(日)

午前10時～11時30分 (受付 9時30分～)

ところ **神戸小学校 体育館**

主催：神戸地区人権啓発草の根運動推進会議

共催：神戸地区住民自治協議会・三重県・伊賀市

